

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」春日校		
○保護者評価実施期間	R6年 11月 27日		～ R6年 12月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	R6年 11月 27日		～ R6年 12月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 1月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人1人に合わせたオーダーメイドの個別支援	お子さま1人1人の発達・行動面に合わせたオーダーメイドのプログラムを組んでいます。その時々のお子さまの好きなものや成長、苦手感、ご家族の困り感を支援に反映させられるようにしています。お子さまに合った課題を提供することで、お子さまの自信に繋がるよう心がけています。また、遊びを通して人とのコミュニケーションや達成感を体験していけるように工夫しています。	研修の実施等によりスタッフ1人1人の専門性を高めていきます。 チームで活動内容を検討する機会を持ち、多角的な視点を取り入れた支援を実施します。
2	毎回の保護者様とのフィードバックや情報共有	降所の際、毎回保護者様と5～15分程度フィードバックの時間を設けています。その日の活動内容やお子さまの様子、気付きについての共有や助言を指導員から行うだけでなく、ご自宅の様子やご家庭での困りごとなどをお伺いする時間にもなっています。保護者様とはLINEでのやりとりを行っており、いつでもすぐに相互で情報共有できる環境にしております。	家族支援の機会を積極的に提案していきます。 関係機関との連携をより積極的に行い、保護者様に提供できる情報をより深めていきます。
3	SSTの充実	指導員とのかかわりの中で他者との円滑なコミュニケーションを学べる支援を行っています。大人との関わりから同世代とのやり取りにつなげ、気持ちを言葉や体で表出し、自身の気持ちをコントロールできるよう、プリント教材やロールプレイングの活動を取り入れています。学校生活や日常生活の中で起きる人間関係について自身の考えと相手の意見を聞き、自身の行動に活かせるような機会を設けています。自身の生活の中で不安なことや疑問などを指導員に気軽に話し、不安なく落ち着いた気持ちで自分らしく生活を送ることが出来るようサポート行っています。また、自身の感情や気持ちに関心をもち、自己の理解を深めながら安定した情緒で過ごすことができるよう支援しています。	1人1人に合わせたSST教材をより多く作成していきます。 複数の指導員との1対1での関わりをより増やし、様々な視点をお子様を持つことができるよう支援していきます。(指導員間の情報共有は密に行っています。)

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他児との関わりが少ない	個別スペースでの支援を実施しているため指導員と1対1での活動が主になり、他児との関わりや集団でのやりとりの機会の提供が難しい環境にあります。	年1回以上集団イベントを実施していますが、年2回以上を目標に集団活動の機会(イベント等)を提供していきます。また、2人以上の小集団での支援の必要性があるお子様がいた場合は、随時小集団の場を設けていきます。
2	日々の学校とのやりとりが少ない	事業所への送迎を保護者様をお願いしているため、事業所の職員が学校にお迎えに行く機会がなく、先生方と日々お話ししたり、情報共有させて頂いたりする機会が送迎ありの事業所に比べて少ない状況です。	連携会議を積極的に開催し、情報収集、役割分担について協議します。 訪問や電話等でこまめな情報共有を行っていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」春日校
------	-------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 64

回収数 36

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	5	1	0	・利用する子どもが増えてバージョンも増え、窮屈な感じになってきた気がします。 ・フリースペースがもう少し広いと活動しやすいのかなと思います。個別は区切りがあり、十分だと思います。	同じ時間帯に利用されるお子様の人数を制限するようにしております。また、身体を使った遊びをするお子さまに関しましては、広々と場を使える利用者の少ない時間帯をご案内する等の対応をさせて頂いております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	33	1	0	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	2	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	3	1	1	・部屋の空気がこもって臭いと思うことがあります。 ・身体を動かす活動やボール遊びを促すスペースが不十分と感じることがあり、少し心配です。	空気清浄機を随時稼働させておりますが、身体をつかった遊びをした後は汗のにおいや熱気が一時的にこもってしまう場合がございます。そのような際はしっかりと換気をするよう今後さらに気を付けてまいります。活動スペースに限りがあるため、ボール遊び等は利用人数の多い日は制限させていただき、スペースの中で楽しめる遊びを提案していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	2	0	0	・本人の調子や様子に対して迅速に対応し、専門性のある必要な支援をしています。 ・子供の意見を聞き入れつつも、先方が工夫をされて、本人に必要なスキルを付けさせる試みもあり、かなり本人の力になっていると思います。 ・担当して頂く先生により理解度は違つな思っています。私より詳しく知ってある方。知らないけど理解しようと思つて努力してある方等、様々な感じています。	指導員によって差が出ないよう、しっかり研修の実施をしていきます。また、全体共有の場をさらに設けて全体での理解度をあげていけるよう精進いたします。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	0	3	0	33		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34	1	1	0	・私からお聞いたSSTの内容を踏まえつつ、更に本人に必要なと思われる内容を工夫して頂いていると思います。 ・子どもの希望寄りになっていて、なかなか学習支援が進んでいないと思う。おかげで本人は楽しんで通つてはいますが、親としては短期間でしんどい状態に陥つてしまつたため足りない。指導する人と計画する人が別だからあまり信用できない。	お子さまの気持ちや状況も踏まえたくらうで支援内容を適宜変更しておりますが、保護者の困り感やご要望と本人の希望や状況に差がある場合は特に、しっかり本人やご家庭と話し合ったうえで支援の方向性や進め方を決めていけるよう精進いたします。児童発達支援管理責任者が計画を作成し、それに沿つて指導員が支援を行う体制となっております。児童発達支援管理責任者と指導員との情報共有は密に行つております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	0	0	3	・ガイドラインがわからないから、基準がわからない。 ・本人の好きな事をおやつ、苦手な部分をサポートする内容も含まれていてよく考えられていると思います。	ガイドラインに関する資料を保護者様がいつでも手に取れる場所に設置いたします。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	2	0	1	・その子の体調等により、臨機応変に対応して頂いているので有難く思つております。なかなか計画通りに進んでいないこともありますが、調子がいい時は進めて頂けたらと思います。総合的には満足しています。	お子さまの伸びるタイミングをしっかり見計らつて、支援が停滞しないように工夫してまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	2	0	2	・常に新しい試みがあると思います。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	12	16	・特に必要性を感じません。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	1	0	1	・コピー代は高いなと思います。 ・運営方法が毎回変わつて、何が基準かわからない。	コピー代に関しては、ご家庭によってはプリント教材をなるべく使わない支援方法への変更を提案させていただいております。運営方法に関しては変更がある度に保護者様に直接、またはLINE等の一斉配信でご説明をさせて頂いておりますが、より丁寧に説明ししっかりと納得して頂いたうえで周知していただくよう気を付けてまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	2	1	9	・なかなか下の子がいると保護者への参加が難しいので、どういった内容だったのかおとから資料を見ることが出来たらいいなと思います。 ・保護者交流会はあるが、わが子の特性を話すのみでペアトレはない。	保護者会の内容をまとめたものを後日全体配布できるようにしていきます。今年度から保護者会に支援体験等の内容を盛り込んでおります。今後ペアトレや研修等も同時に実施できるような企画をまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	34	1	0	1	・ご理解して頂いたうえで繊やかな対応に感謝しています。 ・毎回丁寧なフィードバックがあります。 ・特定の担当者のみ共有されているから、その日の担当が変わると共有されない部分がある。	担当が代わつても支援の質やお子様への理解度にばらつきが出ないよう、しっかり共有していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	34	1	1	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	0	1	0	・本人が安心できる場所として、職員さんたちとの信頼関係を結んでいると感じています。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	4	1	11	・特に必要性を感じません。 ・兄妹支援は行われているが、保護者者交流はない。	保護者会を年に1回実施しております。より多くの保護者様に参加して頂けるよう工夫していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	0	1	5	・子どもの特性や対応についても相談に乗っていただいています。近隣の病院について、薬の服用について等、困ったときに新味に寄り添い情報提供して下さり助かりました。 ・責任者がだれかわからない。	今年度は管理者や児発管の変更があり、保護者様やお子様を大変混乱をさせてしまった事と思います。責任の所在をしっかりと周知させていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	1	1	1	・細やかに連絡を頂いています。 ・玄関口で話すので、待っている間他の保護者さんとの河合が丸聞こえ。次の利用者さんが入ってくるし、聞きにくかったり気が散るので室内で話したい。	個別スペースでフィードバックする等、工夫してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	0	1	10	・行事がない。夏祭りだけ。幼児向けのイベントばかりで小学生メインのイベントがない。	個別支援への需要が高まり、集団イベントの実施が年1回程度になってしまっている状況です。保護者様やお子様の希望を聞いたうえで、年2回以上の集団イベントの企画も検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	1	1	2	・玄関口で話すので他の利用者さんの情報が聞こえるし、バイナダーにその日の利用者さんがすべて込まれていてセルフでサインを書かないといけないのは気になる。フィードバックの際に1人ずつになっているバイナダーを持ってほしい。	個別スペースでフィードバックを行い、サインも頂く等、個人情報にもっと留意した形となるよう工夫してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	3	1	10	・事業所で避難訓練をしたことがない。	月1回防災訓練を実施しておりますが、個別での実施やプリント教材での実施となることも多いため、まだまだ十分とは言えません。避難訓練実施の形態を工夫してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	2	1	12		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	0	0	5	・そのような事を案内されたことがない。	安全計画等の資料を保護者様にも共有し、ご説明する機会を設けていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	2	0	14	・発生したことがない。 ・そもそも事例がない。 ・今までそのようなことが無かったのでわかりません。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	34	2	0	0	・不安で家から出られなくなった時も、きり春日校だけは通所ができていました。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33	3	0	0	・毎回先生と色々な話をすっきりして帰ってきます。聞き上手な先生のおかげです。 ・学習支援中も他の子が騒いでいる声とか遊んでいる音とかが気になる。	1つの時間帯での利用人数に制限もかけたり、音に過敏なお子様には静かな時間帯をご提案させて頂いております。放課後の時間帯はどうしても利用人数が多くなるため、個別スペースの配置やお子様の利用調整等でさらに工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	32	3	1	0	・いつも子供だけでなく保護者に対してもしっかり寄り添っていただいていること、どのスタッフの皆様もそうであることに感謝しています。 ・子どもの好きな分野にいつも丁寧に付き合ってく下さり大変ありがたく思っております。 ・管理者が産休に入られるので少し不安です。 ・支援時間も短く、腿がしく、バタバタ終わる。駐車場も混雑しているし出入り口も混雑している。60分の利用時間も行って帰るまでが60分だから支援時間が60分でないのも疑問。	駐車場や出入り口の混雑を避けるため、来所時間、降所時間の設定を変更いたしました。それに伴い、支援時間が5分程度短くなりましたこと、ご説明はさせて頂いておりますが、納得して頂けるよう丁寧なご説明を重ねてまいります。また時間の内訳に關しましてはご契約時に丁寧に説明させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」春日校			公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			0
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	法定の人員に加え4名の指導員を加配しています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	車いすも利用できるようなフラットな活動スペースを設けていますが、手すりの設置やバリアフリー化したトイレの設置は行っていません。	、今のところ利用者に必要なのある子はいませんが、玄関にスロープが無いため今後の受け入れのことも考えて対策していきます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日清掃を行っています。個別スペースはパーテーションで区切っており、お子さまによって配置を変えられるようにしています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個別のスペースが5つあり、お子さまの特性や調子に合わせてより良い利用スペースを選択しています。クールダウン用のテントも用意しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	毎日ミーティングを行い、定期的に事業所の目標や改善点について話し合いの場を設けています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	年に一度保護者アンケートを実施し改善につなげています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	全体ミーティングの他、個別の聞き取りを定期的におこなっております。	より対等に意見を言い合える環境づくりや人間関係の形成をより徹底していきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	第三者委員会は設置していませんが、定期的に事業所外の者から内部監査を受けています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	(財)発達支援研究所へ研修を依頼し、月1回支援に関する職員研修を行っています。それとは別に、自社にて月1回以上の研修を行っています。			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2		支援プログラムの作成は済んでいますが、公表は社でタイミングを合わせて行う予定のため、現時点では未実施となっています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	フェイスシート、アセスメントシートを活用し、情報共有の機械を通してニーズや課題の検討を常に行っています。	アセスメントは実施していますが、個別支援に必要な要素としては不明瞭な部分もあるため、よりよいアセスメントの方法や時期、共有方法を考えていきます。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	指導員にお子さまの様子を聞き取りし、相談したうえで計画を作成しております。また面談やモニタリングの内容を全体共有しています。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	作成時に計画内容を全体共有し、指導員がいつでも見れる場所に支援計画を保管しています。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3	社内ですべての形式でアセスメントを実施しています。	担当の子以外のアセスメントを全体共有する機会が少ないため、職員全体で把握している仕組みづくりを行っていきます。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	支援計画に「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」に関する内容を掲載しています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	定期的に関務や他の指導員と相談しながらプログラムを組んでいますが、日々の活動プログラムは基本的に担当指導員が立案する形になっています。	担当制をとっていることもあり個々でプログラムを考えることが多いため、子どもによってはチームでとらえられていない子もいる状況です。全体共有の場を積極的に設け、チームで支援していきます。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	少なくとも6か月に1度は個別支援計画の振り返りを行い、利用者に合わせてプログラムとなるよう工夫しています。保護者や本人のニーズを都度聞き、日々それに合わせて活動プログラムの組み換えを行うよう心がけています。	指導員によって差がある部分もあるため、全体で活動の見直しを定期的に行える場を作ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	少なくとも年に1回以上は小集団での活動日を設けています。保護者の希望に沿いながら必要に応じて個別と集団を組み合わせた支援を提供できるよう努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	就業開始時間から利用者が来所する日も増えている為、支援開始前に必ず打合せを行うことは日によってできていませんが、毎日1回以上、利用者の多い夕方より前には全職員での打ち合わせを行っています。	担当制のためあまり連携できていないお子さまもいるため、全体で共有の場を積極的に設けていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	終業時間ギリギリまで利用者がある日も多いため、終了後に必ず打合せを行うことはできていませんが、その日の様子や変わったこと、周知しなければならない事の共有はその都度行えています。	必要に応じて積極的に打ち合わせは行っていますが、毎日の実施ではないため、なるべく日々のルーティンに組み込めるよう業務内容を見直していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援記録は毎日記入し、モニタリングの資料として活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	少なくとも6か月に1度モニタリングを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	ガイドラインに沿った活動を提供しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が担当児童指導員が参加できるよう調整しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	相談体制は整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	月間予定表の配布、新規利用児の情報共有など適切に実施しています。	学校や先生によって定期的な連携が難しい場合もあり、お子さまによって差が出てしまっている状況です。こちらから積極的に働きかけて適切な情報共有を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	関係機関との連携を図るよう心がけています。新規利用前には担当者会議の開催をお願いし、情報の共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	3	支援内容等の情報共有を行い、卒業前に指導員同席の面談等の機会を設けています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4	市の療育施設への見学を実施し、相談体制は整えている状態です。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	支援の特質上、そのような機会は積極的に設けておりません。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4	春日市と大野城市の部会には参加しています。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	支援の様子はLINEやお迎えの際に共有しています。また希望されるご家庭には月に一回事業所内相談の機械を設けています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	支援計画によっては個別に行わせていただいているご家庭もありますが、全家庭への提供はできていません。事業所内相談の際にはペアレントトレーニングについてお伝えしています。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に書面と口頭で説明を行っています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	ご家族としっかり情報共有をし、ご家族の意向を確認してから計画を作成しています。お子さまの気持ちや発達段階を無視しない計画となるよう心がけています。中高生のお子さまに関しては本人とも相談して反映することもあります。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	支援計画書を見て頂きながら、対面にてご説明させていただいたうえで署名を頂いております。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	行っています。また、より相談しやすい環境づくりを目指す一環として、事業所内相談支援、家庭連携の体制を整えました。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	2	年1回以上、保護者会を実施しております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情受付窓口、担当者、責任者を設置し、迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	事業所の公式LINEを使用して活動の様子を保護者へ発信しています。また、月に2回ホームページのブログを更新しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	鍵付きのキャビネットに個人情報を保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	口頭のみでなく書面やLINEにて連絡できる体制を整えています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	地域住民の招待等は行っておりません。児童それぞれの療育プログラムに沿い可能な範囲で検討しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	各マニュアルを作成しており、訓練を定期的に行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	BCPを策定し、月1回の防災訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	持病等は契約時に確認し、服薬や予防接種等は随時確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	アセスメント時にアレルギーについて慎重に聴取し、徹底しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全計画を作成し、研修も定期的を実施しています。防災訓練も月1回実施しています。	個別支援の中での防災訓練が困難な場面もあるため、子によっては実施できていない場合もあります。防災訓練の徹底をしていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	契約時に書面と口頭で説明を行っています。	保護者様が手に取れる場所に安全計画の資料を置いておく等、定期的に保護者様に周知できるよう工夫します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	事案があった際は作成、共有しています。	最近ヒヤリハットの件数を多くあげられていないため、ヒヤリハットが起こり次第都度報告をあげ、全体で共有していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	虐待防止研修を定期的を実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	身体拘束については契約時にご説明し、必要があるお子さまには同意書にサインをいただいたうえで計画にも記載しております。		